

卒業論文のこと、 考えていますか？

サポートデスク
大学院生スタッフ
特集展示2017秋

2Fライティング
図書コーナー



卒業論文って何？

論文は**明確なルール**のある特殊な作文です。書くための**時間**を十分に確保し、決まった**手順**をふんでいけば、だれにでも書けます。文章を書くのが苦手でも大丈夫。自分の専門領域の論文や先輩の卒論で仕上がりイメージを確認したら、こんな本を読みながら

「何を満たせば論文になるのか」理解しましょう。

戸田山和久著

『論文の教室：レポートから卒論まで』
新版. NHK出版, 2012.8
中央3F、816.5||To

まずは第2章（ぜんぶで15ページ）を読んでください。論文という作文ジャンルの**基本ルール**がわかります。論文ならではのややこしい約束事を軽妙な語り口で説明してくれる定番本です。特に入門段階の人におすすめ。

酒井聡樹著

『これからレポート・卒論を書く若者のために』共立出版, 2007.5
中央3F、816.5||Sa

具体例の多さが特徴的な本。卒論ってどんな感じの文章なんだろう？と、雰囲気をつかみたい人におすすめします。第1章（ぜんぶで10ページ）「レポート・卒論とは何か」を読めば、学術文書の条件がわかります。

具体的な作業のプロセス

まずはもくじをつくり、論文の全体像=作業の総量を把握しましょう。論文の構成は領域により異なりますが、どんな領域にも共通するのは、研究には**「目的」、「問い」、「方法」、「答え」**があるということ。それらをどんな手順で考え、表現すればいいのか、こんな本を参考にするのはどうでしょう

白井利明, 高橋一郎著

『よくわかる卒論の書き方』
第2版. ミネルヴァ書房, 2013.2
中央3F、816.5||Si

第6-7章を読むと、**研究・執筆の進め方**、**必要な作業の全体像**がわかります。何から手をつけたらいいかわからない人、始めてみたけれど行き詰まってしまった人におすすめ。もくじが細かいので、**調べながら書く**際にも便利に使える本です。

ケイト・L・トゥラビアン編

『シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル』
慶應義塾大学出版会, 2012.11
中央3F、836.5||Tu

最初の30ページを読めば、研究を**計画**するために必要な作業を概観できます。特に、研究の目的・意義を他人に理解してもらうために何をどう説明すればいいのか、丁寧に解説されています。

具体的な作業のプロセス

見延庄士郎著

『理系のためのレポート・論文完全ナビ』
新版. 講談社, 2016.2
中央3 F、407||Mi

自然科学・**実験系**の学生におすすめ。
卒論執筆プロセスを「論点の整理」
「文章書き」「チェック」の3つに
分けて説明しています。論文として
「わかりやすい」文章を書くための
アドバイスが豊富なので、**文章表現**
を学びたい人にも役立ちます。

ウンベルト・エコ著

『論文作法
: 調査・研究・執筆の技術と手順』
而立書房, 1991.2
中央3 F/4 F、801.6||E

人文系の学生を主な読者と想定し
ていますが、他領域の人にとっ
ても価値ある本です。見通しをも
って着手し時間内に仕上げるた
めに前もって考えておくべきこ
と・決めておくべきルールがわ
かります。

最終チェック

誰の書いた論文であっても、**書き直し**は必要です。
書き直しでは、表現上の誤りを修正するだけでなく、より
明晰な説明になるように、文章を**構造的に検討**しな
ければなりません。「卒業できる論文」のさらに上を
目指したい人、せっかく書くだから良いものに仕上げたい
という人におすすめしたいのがこれらの本です。



ハワード・S・ベッカー著

『ベッカー先生の論文教室』
慶應義塾大学出版会, 2012.4
中央816.5||B

なぜ「書き直し」が嫌われるのか、
それでも**「書き直し」が必要な
のはなぜなのか**を説明した本です。
論文というジャンルで良い文章だ
と評価されるために、何に注意す
ればいいのかわかります。

澤田昭夫 著

『論文のレトリック
: わかりやすいまとめ方』
講談社, 1983.6
中央学 S816.5||Sa

「第十四章 だめな論文からよい
論文へ」を読んでください。特に
「**ロジック**が良くない」という批
判をされがちな人、指導者による
修正の意図がよくわからない人
にとって、ためになる解説が見つ
かるはずです。

平日15時から19時には、
サポートデスクで院生スタッフ
がライティング/I T/学習相談
に直接のっています。